

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2020年1月26日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部法律学科ビジネスロー専攻
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: セントラルオクラホマ大学 現地言語: University of Central Oklahoma
留学期間	2019年8月～2019年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	経営学部国際経営学科 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年1月3日
明治大学卒業予定年	2022年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:1月中旬～5月中旬 2学期:8月中旬～12月中旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	17000人
創立年	1890年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	免除	円	
宿舍費	5000	500000円	
食費	2000	200000円	
図書費		円	
学用品費	300	30000円	
教養娯楽費	300	30000円	
被服費	200	20000円	
医療費		円	
保険費	521	52100円	形態:明治大学で義務付けられた保険のみ
渡航旅費	2800	280000円	
雑費	200	20000円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	10800	1080000円	

## 渡航関連

**渡航経路:** 成田ーデトロイトーオクラホマ

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	14万
復路	14万
合計	28万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

エクスペディア

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 )

3)住居を探した方法:

学校のウェブサイト

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

一人部屋の方が、自分の時間を作ることができて良いと思います。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友人、大学の国際事務室 問題があったときは、担当の事務室に相談しに行きました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

スマートフォンに、危険通知が来ました。 犯罪に巻き込まれたことはありません。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学中に Wi-Fi がありました。ただ、大学の外では Wi-Fi がないところもあったので、携帯電話の契約はした方が良いと思います。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを二枚持っていたためにお金に困ることはありませんでした。日本のキャッシュカードで、現地の現金をおろすことができる ATM も多いのでキャッシュカードを持つこともお勧めします。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

寒い地域なら、ヒートテックなどの下着や、タイツがあると便利です。また、日本食を持っていくのも良いと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
ウェブサイト、同じようなビジョンを持っている人の記事を参考にしました。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
公務員
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
私はまだ就職活動をしていないので、経験を書くことはできませんが自分から行動することが重要だということを、留学を通して改めて実感しました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12単位	<input checked="" type="checkbox"/> 11単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Legal Environment of Busines	ビジネスロー
科目設置学部・研究科	経営学部国際経営学科
履修期間	1学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Mr. Ford
授業内容	ビジネスに関する法律
試験・課題など	試験は計5回。課題はなし。
感想を自由記入	基礎的なことが多かったので、日本の法律の知識があれば難しくないと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
law of arrest, search and seizure		刑事訴訟法	
科目設置学部・研究科	クリミナルジャスティス		
履修期間	一学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Mr Donald		
授業内容	刑事訴訟法についての講義 実際の尋問練習		
試験・課題など	課題は5回ほど出た テストは計7回 プレゼンテーション1つ		
感想を自由記入	このクラスが一番難しく、少し変わった授業だったため大変でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
introduction to law		憲法	
科目設置学部・研究科	リベラルスタディ		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に165分が1回		
担当教授	Ms, Margo Brown		
授業内容	法律の基礎的な知識を学習しました。憲法だけでなく、民法や刑法も学びました。		
試験・課題など	テストは4回 毎週大量の課題が出された		
感想を自由記入	テストはホームテストなのでテキストを見ながらできましたが、毎週出るブリーフが大変でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
English composition		english C II	
科目設置学部・研究科	リベラルスタディ		
履修期間	1学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Ms.Lee Hind		
授業内容	英作文についての書き方や、引用の仕方など基礎的なことを学びました。		
試験・課題など	課題はエッセイが4つと、サマリーが2週間に1回くらいの頻度で出ました。テストはありません		
感想を自由記入	エッセイを書く上で、基礎的なフォーマットやルールなどを学べてよかったです。		

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	高校卒業
4月～7月	TOEFL の勉強開始。 留学ついて、調べ始める。
8月～9月	TOEFL 受験。 単位について調べる。
10月～12月	学内選考に必要な書類を集める。 学内選考に応募。
2019年 1月～3月	協定校出願。 英語の勉強。 アメリカについて、調べる。
4月～7月	留学準備。 必要なものをそろえる。 予防接種を受ける。
8月～9月	アメリカに出発。 留学開始。
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	<p>幼いころから英語を習っており、海外の暮らしにとっても興味がありました。海外に行く機会がなく、高校受験や大学受験のために英語を勉強するようになっていました。しかし、大学一年生の時に受講した留学基礎講座で、自分のスピーキング力やリスニング力の低さを実感し、実用的な英語が学びたいと考えました。</p> <p>また、日本国内の法律のみでなく他国の法律を学ぶことは私の将来に不可欠だと考え、アメリカで法律を勉強しようと決意しました。</p> <p>海外に行って勉強する機会はこれからもあると思いますが、就職してからでは難しく大学生のうちに留学を経験したいという思いで留学を決意しました。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>多くの人が、書くとは思いますが語学力が大切だと思います。英語力がないと、友人とコミュニケーションをとることができないうえに授業にもついていけません。形式的な英語も重要ですが、海外ドラマなどで使われているようなスラングなどの暗記は現地の友達を作るうえで、かなり大きな役割を果たすと思います。</p> <p>また、何か話題になるような自分の特技などを持ってると、他国の友達と仲良くなりやすいと思います。言語の違いがあっても、何か自分の特技があることで、話題を作ることができる人の輪が広がります。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>私は、アメリカで法律を学びたかったために、専攻の多いこの大学にしました。そもそも、留学国をアメリカに選んだ理由としては、アメリカが英米法の中心的な国であることや、様々な人種の人々が暮らす国で法律はどのように機能しているのかを知りたかったからです。しかし、アメリカで法律を学べる大学を探すのは困難で、UCO のみが自分のスコアと GPA の条件に合い、取りたい科目が多くあったため留学先に決定しました。また、大都市よりも生活を抑えることができ、治安も良いと聞いたということも理由の一つです。</p>
大学・学生の雰囲気	<p>大学内はかなり平和でした。アメリカは、日本に比べて危険で夜はキャンパス内を歩くのも危険と聞いていたのですが、想像と全く異なりました。学校内には、常にバトロールしている人がいて夜一人で歩いても安全でした。また、学生も優しい人が多く何か困っていることがあれば助けてくれました。私のようなインターナショナルの学生をいろいろな行事に誘ってくれたり、自分の家に招待してくれたりするなどとてもやさしい学生が多かったです。先生も、私の質問に丁寧に答えてくれるなどインターナショナルの生徒にも、分け隔てなく接してくださいました。</p> <p>UCO は、自由な校風で自分の思いのままに学校生活を送っていて、個性の大切さを再認識できました。</p>
寮の雰囲気	<p>私は、プライベートルームだったので、あまり同じ寮の学生と交流することはありませんでしたが、時々寮ごとのイベントが開催されており、それに参加していました。寮は比較的きれいでしたが、時々水回りのトラブルがありそのたびに作業員の方に来ていただいていた。それ以外のトラブルは特にありませんでした。</p> <p>また、寮の外の広場のようなところで、よくイベントを行っていました。わたしは運動が苦手なので参加しませんが、運動が好きな人なら友達づくりのいいきっかけになると思います。</p>
交友関係	<p>留学した初めてのころは、日本人の友達とばかりいました。やはり、言語の壁は大きく他国の友人を作るのには時間がかかりました。しかし、徐々に生活に慣れてくるとどんどん他国の友人ができました。インターナショナルの生徒はインターナショナルの学生と仲良くなることが多いです。私も、仲良くしていた生徒は韓国人の学生でした。</p> <p>現地の学生の友人を作るのはとても難しかったです。交流する機会はあるですがそこからつながり続けるのが困難で、授業で会う学生や友人に紹介してもらった人が友人のほとんどでした。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>やはり、授業についていくのが大変でした。一つとても大変な授業をとってしまい、2週間に1回のテスト+中間試験+期末テストとテストが多いうえに、特別授業や課題も多く授業後に教授に質問しに行っていました。</p> <p>どの授業も宿題かテストが日本よりも多く毎日勉強していました。日本では、テスト前に勉強をすれば単位が取れますが、アメリカでは習慣的に勉強しないと授業についていけません。</p> <p>また、何回かカードが使用できなくなってしまい、そのたびに電話しなくてはならないのが大変でした。</p>

学習内容・勉強について	<p>私は、明治大学での専攻と同様に法律を専攻していました。法学部というものがなかったので経営学部在籍をしていましたが、学部に関係なく授業をとることができたので目的通り、法律を勉強することができました。</p> <p>授業で日本と異なるのは、生徒が積極的に質問する点です。日本では、教授の話はずっと聞いてノートをとることが多いですが、学生が積極的に意見を述べ、時々とても激しい討論が繰り広げられる時がありました。最初はその光景に圧倒されてしまいましたが、徐々に慣れていき意見に耳を傾けることができました。</p> <p>また、授業がすべて英語なのでついていくのが大変でしたが、クラスメイトや教授に助けてもらって単位をとることができました。</p>
課題・試験について	<p>課題は授業によって異なりましたが、4つのうち3つは課題が多くかなり大変でした。英語ということもあり、終わらずのに人よりも時間がかかってしまいました。しかし、慎重に時間をかければできてしまうものが多く、そんなに深刻に考える必要はないと思います。</p> <p>私は、アッパーコースをとっていたので試験はとても苦労しました。それでも、普段から習慣的に勉強をしたためクリアすることができました。上記でも何回か述べていると思いますが、普段から学習する習慣を身につけておけば、他言語の授業でも単位をとることができます。</p>
大学外の活動について	<p>大学外の活動にはあまり参加していませんでしたが、一度文化紹介のボランティアをやりました。高校に行き、少人数のグループに対して日本文化のプレゼンテーションを行いました。自分でパワーポイントを作り、ゲームを考えたりして大変でしたが生徒から好評でした。日本人が少ないオクラホマにも日本の文化に興味を持っている生徒が多かったことに驚きました。</p> <p>また、協会が主催しているフリーディナーに行きキリスト教についての話を聞くことができたのは、とてもいい経験になりました。</p>
留学を志す人へ	<p>留学をするのをためらっている人は多くいると思います。実際私も単位のことや、海外経験がないことなどが不安で留学を迷っていた時期がありました。いろいろなサイトで留学を検索しているときに、プラスの面が書かれている一方で、マイナスの点も書かれていて何回も迷いました。留学費用も交換型での留学だとしても高額です。しかし、留学で得られる経験は自分の考え方を大きく変えるチャンスです。実際に私も自分の将来について真剣に考えるようになったし、自分が積極的に行動しないと得たいものは得られないということが分かりました。</p> <p>チャンスを生かせるか生かせないかは自分次第なので、成功させようという強い気持ちをもって留学を目指してください。</p>

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業			
	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	友人と遊ぶ	友人と遊ぶ
午後	授業	授業	授業	授業		昼食	昼食
	勉強	勉強	勉強	勉強	夕食	勉強	
夕刻	授業	交流会	買い物	夕食	交流会	夕食	フリーディナー
夜	夕食	夕食	夕食				